

*精神科訪問看護について

①既に利用している ②内容について知っている ③聞いたことがある ④知らなかった ⑤無回答

立場	年齢	①	②	③	④	⑤	計	合計
当事者	50代	2					2	2
家族	50代	4	1	4		1	10	86
	60代	5	3	6	1	1	16	
	70代	18	18	6	2	3	47	
	80以上	6	5	1	1		13	
医療・福祉	20代		2				2	24
	30代		2				2	
	40代		8			1	9	
	50代		7	1		1	9	
	60代		1			1	2	
その他	50代	1					1	3
	70代		2				2	
立場なし	不明		1			1	1	1
		36	50	18	4	8		116

家族…①には「利用していた」を含む。医療・福祉関係者…②には「実施している」を含む。

立場「その他」については特に記載なし。

*基調講演について ()内数字は年代

(当事者)

- ・スライド、資料、説明で、わかりやすく、良かったです (50)

(家族)

- ・訪問看護を利用している。とても助かっている。意義、意味、理念がよくわかりました (50)
- ・良くわかりました (50)
- ・とても基本的な話で良かった (50)
- ・良かった (50)
- ・とても分かりやすい説明と訪問看護についての内容や当事者と家族にとって良い効果があることがわかりました。診察室の中だけでなく、生活全般に寄り添っていけるアウトリーチの支援が今後も広がっていく事を願っています (50)
- ・個性の高い訪問看護について、一般的知識を学ぶ機会になった一方、個性についてふみこんでいない (50)
- ・画面に表示された資料等もレジメに反映しておいて欲しかった (60)

- ・資料と画面で一致しない所があり、そこがわかりづらかった。説明はとてもわかりやすく、声もきれいで聞きやすかった (60)
- ・すごく良かった (60)
- ・わかりやすくてよかったです (60)
- ・大切なポイントをよく押さえて、わかりやすいお話でした。訪看ステーションが増えていますが、質が問われていると感じます (60)
- ・精神科訪問看護の概要について分かり易く聴くことが出来ました (60)
- ・わかりやすく聞きやすかった。精神科訪問看護は使っていない。時々ひとりごとがひどいので、ずっと聞いてもらえると助かる？誰もいないけど話して満足？わからない (60)
- ・自分の息子が1人暮らしをはじめるにあたり、相談支援事業所及び訪問看護を利用しました。1年半位経過した頃、本人から「精神科専門の看護師ではないからやめてもらいたい」との希望がでました。今回のテーマ、話の内容はまさに私が知りたかった内容でした。その後本人は断薬を行い、大変な時期を過ごしました。現在は病院の地域医療連携室の手を経て再度1人暮らしをしています。もちろん精神科訪問看護を利用しています (60)
- ・精神の訪問看護について全体的なことがよくわかった。言葉がとても聞き取りやすかった (60)
- ・訪問看護は家族・当事者にとって、とてもなくてはならない事業だと改めて感じました。ただ受けられない方々がいる問題はとても残念ですので、必ず解決できる社会になって欲しい (60)
- ・とてもよかったです (60)
- ・親なき後にお世話にならなければ当事者は生活していけないのではと思われる。横須賀にも多くの訪問看護ステーションが多く出来て、当事者にとって安心して相談できて生活できる様になってほしい (60)
- ・声をはっきりしていて、とても聞きやすかった (60)
- ・初めての参加でしたが、精神疾患について学ぶことが多かったです (60)
- ・少し疲れました (70)
- ・聞き取りやすい声と間の取り方で訪問看護を理論的に学びました (70)
- ・とてもよかったです (70)
- ・いろいろと参考になりました。資料の文字がもう少し大きいと見やすいと思いました (70)
- ・とても良かった。ためになった (70)
- ・本人も家族も元気になりました (70)
- ・より深く知れた。内容が看護者への研修か、研究者の立場が強すぎる。訪問看護で何でも解決不可 (70)
- ・良かったです (70)
- ・発表された資料の中に配布資料にとじられていない資料が数枚ありました。とじられていない資料を後日いただけないでしょうか。戸高さんからも同様な要望あり (70)
- ・精神科訪問看護についてのイメージがふくらみました。うちでも活用できるか、さぐってみます。ありがとうございました (70)
- ・訪問看護の役割が良くわかって良かったです (70)
- ・一番基本的なことを勉強させていただきました (70)
- ・聞きやすいお話の仕方でお話についてよくわかりました (70)
- ・訪問看護師のお仕事も家族支援も視野に入れて、さまざまであることを聴き、それが広く認知され実行される様にしてほしいと感じた (70)
- ・最近「訪問看護」の話題が増えています。丁寧なお話と仕組み、考え方、意味など、整理されてよくわかりました。質を高めるための研究、期待しています (70)

- ・やわらかい話し方と内容にいやされました。ありがとうございました (70)
- ・とてもわかりやすく有難い講演でした (70)
- ・訪問看護について、しっかり整理されたお話がきけて良かったです。11/9 (土) に、立川麦の会で訪問看護師さんに具体的事例をふまえて話をしていただき、訪問看護の重要性をあらためて認識しました (70)
- ・良かったです。システムがよく理解できました (70)
- ・詳しくお話を伺えてよかったです。資料もたくさんいただけてよかったです (70)
- ・広範囲にわたり訪問看護について講演いただきました。訪問看護の仕組みは古く、40 年前からあったこと、初めて知りました。訪問看護は健康生活の支援であり、ストレングスモデルで、更に夢、希望までが大切であることを学ばせて頂きました (70)
- ・訪看制度の一般論と現状がわかってよかった (70)
- ・当事者は働いているので、支援は医療費、バス券等。改めて訪問看護を学ぶことができました。訪問看護を利用されていない家族会の方々に勧めてみようと思います (70)
- ・このように「学問」として取り組んでいらっしゃる方がいて、心強く思いました (70)
- ・当事者に寄りそうばかりでなく、家族も対象になること、とてもいいことだと思いました (70)
- ・この制度の利用を検討する余地がありそうだとは思われた。永らく通院してきたが、担当医より訪問看護について話は出たことがなかった。これを機に利用してみたいが (70)
- ・ゆっくり話していて良かった (70)
- ・訪問看護を含め、福祉の充実が進んできたことはありがたい。現在の状況が維持できるよう、信頼できるケアをしていただいている。さらに、研究を進めて頂きたいと思います。有難うございました (70)
- ・娘 48 歳、発症は 18 歳 (?)。感情障害→うつ→統合失調症→双極性。訪問看護を受けています。10 年前から退院後、週一回利用しています。看護師さんは 3 人くらいの方がローテーションで来て頂いています。最初は緊張していたが、私 (母親)、娘、看護師と女子会、ティータイムをして、情報交換して楽しんで元気を頂いています。入院はしていない (70)
- ・当事者と同年代に近かったし、人柄が気さくで、色々話が出来、楽しかった。半年間でした。とてもためになったと思います。今はやめています (70)
- ・とても分かりやすかった。「にも包括」の要にもなる、ということも理解できます (70)
- ・大変わかりやすい講演でした (70)
- ・資料の中のパネルにある (画面) が資料に入っていないので、その部分がほしいが写せず、次回は入れてほしい (70)
- ・良かったです (70)
- ・訪問看護を既に利用していますが、訪問看護師さんに家族も感じた事、思った事を率直に話していいと知ることができました (70)
- ・話し方、声のトーン、とても聞きやすかった。こういう方に担当していただきたいと思いました (70)
- ・いずれは娘 (当事者 50 歳) も訪問看護になるかなと思い、本日出席しました (70)
- ・息子は週 2 回グループホームで利用している。30 分間で本人も喜んでます (80)
- ・とても良かった (80)
- ・精神疾患の訪問看護の重要性が具体的な説明で良く理解できたと思います (80)
- ・訪看の枠組みは良く判りました (80)
- ・実際に利用できたら、どんなにステキなことでしょうか? (80)
- ・とても大事で重要な制度と思う。充実した制度になってゆくことを願う (80)

- ・精神科訪問看護の効果はよく説明されていましたが、デメリットについても話を聞きたかった。人は人を助けることもあります、ストレスになることもあるはず。ステーションのスタッフの資格が1年以上の経験と20時間の研修の受講とありますが、特に研修だけで理解が得られるか疑問です(80)
- ・よかった(80)
- ・訪問看護が大変な事と思った(80)
- ・精神障害者が地域で「誰もが安心しておだやかな生活が出来る」。そのための手始めとして基本訪問看護の役割があるので、その一歩としての訪問看護の基調講演は初発の方、一般の方々、家族会員はもちろん必要大であると感じている。「家族以外の他人、専門家が入ることは大きく変わる一歩」と感じている(80)
- ・大変よかったです。具体的によく分かりました(80)
- ・とてもわかりやすかったです。1人でも多く利用して良くなる人がいることを願います(80)
- ・医師とも連携できて大変助かっている。そもそも論から学ぶことが出来、他の方の利用促進に協力したい(80)

(医療・福祉関係者)

- ・病院の相談員として、訪看さんと関わる機会は多いものの、今回の講演を聞き、知らなかったことも多く、制度として家族の支援も行っている事。体調チェックや服薬チェックだけでなく、本人に合わせた、リラックス方法を考えるなど、幅広い支援を行っていることを学びました(20)
- ・10年ほど前、NS職の知人は「医療は転ばぬ先の杖、福祉は転んだ時に、次転ばないための作戦会議だね」と表現されたことがあった。今回の先生の話聞いて、精神科訪看は両方を備えている心強い存在だと感じました。いつもお世話になっております。今日はありがとうございました(30)
- ・基本的なことを学びました。手元資料のないスライドがあり、場がソワソワしていました。資料が揃っていると嬉しいです(40)
- ・PMから出席させていただきました。パネルディスカッションにも登壇頂けて良かったです(40)
- ・訪問看護の内容は知っていたが、実際どのように利用するか、何回まで利用できるのか等は、あまり知りえていなかったので、学びました(40)
- ・訪看の支援内容や課題など、わかりやすい話でした。ステーションごと、特徴も様々ですが、病気や障害に悩み、自分らしい生活ができない人にとっては、特に身近な伴走者として、大きな可能性があると感じます。様々な支え手がいって、自分に合った支援を選べ、自分らしく生活できる地域を作ればいいと思います(40)
- ・わかりやすく説明してくださり、ありがとうございました。市内で訪問看護事業所が増えてきていますが、各事業所のサービス内容、特徴等が把握しきれいていません。情報を収集して相談者の方に適切な情報提供が出来るように努めたいです(40)
- ・精神科病院から精神訪問看護に携わり3ヶ月経ち、少しずつ訪問看護が利用者地域をつないでいることがわかり始めてきました。とても重要な役割となっているため、今後も続けていけるように努力していきたいです(50)
- ・資料にそってしっかり説明していただき、自分自身の整理になりました。「ケアする人がサポートされること」は自分が大切にしている「支援者支援」とかぶり、大切なものになりそうです(50)
- ・とてもわかりやすく参考になりました。精神訪問看護師さんが増えると良いと思います(50)
- ・訪問看護についてわかりやすくご説明いただけてよかったです。地域の中で支えていくことが今後大切だとあらためて感じ、今後の課題だと思いました(50)
- ・最近の制度も知れた。わかりやすかった(50)
- ・自分が行っている支援の方向性が、今日の講演を聴いて間違っていないと感じられて良かったです。身体障害の人にも精神面や家族への支援も大切だと感じました。また、ご家族それぞれ支援が必要な家族が増え、ご

家族を丸ごと支援できる訪看サービスのコミュニケーションが必要です。ただ、訪問していて意味があるのかどうか、伴走していて実感が持てないのが現実です。講演を聞いてよかったです。ありがとうございました (50)

- ・①訪問看護ステーション同士で共同で行う。教育をする②地域で集う場所を作る。とても大切だと思います。ボランティア精神で動くNSがもっと社会、地域に増えてこないといけないと難しいですね。このような場に若いNSが沢山来ることを願います (50)
- ・訪問看護についての理解ができました (60)
- ・家族支援、重層的支援など、取り上げていただけて良かったです。参考にさせていただきます (60)

(その他)

- ・訪問看護の存在を初めて知りました。主人公は当事者、家族。看護は伴走者。気持ちを理解し励まして下さるのは、本当に有難い存在です (50)
- ・基本的なことが理解できた (70)
- ・現状がよくわかりました (70)

*パネルディスカッションについて

(当事者)

- ・久しぶりに高森先生の話を受けて良かった。訪問看護は10年目。家族の悩み、病気の悩み、作業所の悩みを話しています (50)
- ・3人の皆様の違った面からのお話で良かったです。質疑応答が少し慌ただしかったが、見事な進行でした (50)

(家族)

- ・大変勉強になりました (50)
- ・長加部氏、小川氏の報告は良かった (50)
- ・高森先生の話が素晴らしかった。もっと時間をとってたくさん聞きたかった (50)
- ・高森先生が良かった (50)
- ・コーディネーターの声が聞きとりやすかった。話はまとめなくて良い (50)
- ・午後からの参加でしたが、高森先生のお話はいつも参考になります。これからも当事者の対応をする時、念頭において接しようと思います (50)
- ・今後は受診だけでなく、訪問看護も利用を考えてみようと思います。チームで支えて見守りをしてくださっていることが伝わりました。素晴らしい事だと思いました (50)
- ・とても参考になりました。皆様、具体的な事例があり、わかりやすかったです (50)
- ・高森先生の当事者に対しての接し方や本人の気持ち・心境など、とても分かりやすく、5年ぶりにお話が伺えて感激いたしました。親としての心構えを気負うことなく、今一度再確認してやっていこうという気になりました (50)
- ・高森氏のカリスマ的トークは圧巻でした。訪問看護の学術側と実践側のプレゼンが聞いて良かった。コーディネーターが聞きづらかった。長加部氏にもコメントをふってほしかった (50)
- ・高森さんの動画に涙が出ました。本人に寄り添うことの難しさも感じつつ、やはり一番大切なことであるという根源を再度確認できました。皆が幸せを実感できる優しい世界を構築したいです。家族会ともつながり、訪問看護もぜひとも利用させていただきたいと思いました (50)

- ・病院へ行くことが大きな負担になっているので、訪問していただけるのは、たすかります。色々な手があることを知れたのは家族としても安心できました。精神病は閉ざされた世界で暗やみというイメージがありましたが、こうして光を差す活動をされている皆さんの存在を知って、とても心強く感じました (50)
- ・具体例を聞かせていただき良かった (60)
- ・私の住むまち（笠間市）では行政型アウトリーチにオープンダイアログ的要素を取り入れている（研修）。医療型アウトリーチにオープンダイアログを取り入れることで病院から地域移行「にも包括」にも進むように思う (60)
- ・身近な感じが聞けました。ありがとうございました (60)
- ・制度のしくみがひろく参加者の共有課題についてのディスカッションをお聞きしたいと思いましたが、家族の個人的お悩み相談のQ&Aになっていると残念に思いました。地域の訪問型支援が少ないので訪看への期待が大きいと思いました。支援者のセンスが問われる大変な仕事ですね。訪問看護師は安易に入院させるとの話も聞きます。どんな理念や哲学を持って支援しているのかも気になります (60)
- ・高森先生の話は、いつ聞いても心にしみ渡ります。元気がb出ます (60)
- ・地域で1人で暮らす。そんな時にありがたいと思う。親なき後は突然訪れる (60)
- ・会場の参加者からの質問内容に皆さん丁寧に答えてくださり、ありがとうございました。1問1答がとても参考になりました。今回得た情報を家族会で報告していきます (60)
- ・高森先生のお話は以前にも聞かせていただいていたのですが、大切なことだと思います。長加部さんのお話は家族会につながっていない人の掘り起こしの重要性を感じました。小川さんのお話で訪問看護を実際にやっている現状が理解出来た (60)
- ・高森さんのお話はすごくわかりやすく、当事者に対しての対応、勉強になりました。家族への心理教育に対する支援を期待したいです (60)
- ・皆さんの話がためになった。精神科訪問看護についてよく知れた (60)
- ・高森先生のお話がしみました。当事者に愛情をもって接して行きたいと思えます (60)
- ・主人がうつを長い間、10年以上患っており、共感することが多く、又逆に…と思うこともあり、本音と建前、患者と家族の思いは違うのかなど。いろいろなお話が聞けて良かったです (60)
- ・具体的例がわかりやすかった（小川パネラー） (70)
- ・高森先生の話に感銘を抱いた。長加部さん、「オープンダイアログ」の意味がわかりません (70)
- ・医療へとつながる前の段階の家族への支援について課題。苦しんでいる家族がいると思う (70)
- ・大変勉強になりました (70)
- ・よかったです。小川未生さんはもう少し資料の字が大きい方がよかったです。パネルの方も見づらくて一生懸命説明してくださるのですが… (70)
- ・当事者の家族の方の話なので、とても参考になった (70)
- ・わかりやすくよいですね (70)
- ・個々の話は良かった。小川さんの話が一番で、概略を聞いてから、長加部氏、高森先生の順が良かったか (70)
- ・良かったです (70)
- ・高森先生のお話が心に残った。みのり訪問看護ステーションの事例の紹介は大変参考になった (70)
- ・訪問で信頼関係を築く。家族の相談にも対応、当事者を中心、家族も当事者である。地域によるアンバランスがありそうなので、具体的に調べてみます (70)
- ・家族会の方の問題提起の未受診、医療中断について、もう少し深まるとよかったなと思いました（実態が知りたいです） (70)

- ・パネリスト3名のお話はよかったです。発表を受けて、4名の方の意見交換をお聞きしたかったです。質疑応答になってしまったように感じました (70)
- ・各パネリストからは訪看についての知識を更に得ることが出来ました。中でも高森信子氏の話は現場を良くご存じの上の発言で大変リアルで心に訴えるお話でした。以前品川の家族会で講演を行いました、具体的に充実したお話は今も変わらないのだと思いました (70)
- ・「10人十色の精神科領域でもあきらめず、ゆっくりでも声をあげる」納得します。高森先生の話、「子育てのやり直し」努力します (70)
- ・未受診の医療につながない人達にこそ、訪問看護は必要だと思いました (70)
- ・高森信子さんの言葉が心にひびきました。子どもの考えを尊重して接していこうと思いました。いろいろなパネラーさんがいて、それぞれの答えが参考になりました (70)
- ・質問に対しても高森先生の回答で子供の成長に合わせることに、子供の求めているに合わせることに、ほめることに、当事者の育て直しということが心にしみました。大変学びの多いパネルディスカッションでした。ありがとうございました (70)
- ・良かったです。家族の現状をよくご理解いただいているとわかり、心強く思いました。皆様良かったです、特に高森先生の話は心が暖かくなりました。ありがとうございました (70)
- ・経験の深い方のお話でよかったです (70)
- ・高森先生のお話、久しぶりに本当に味わいました。真に見事です。父親が冬にアイスを買ってきたお話。父親はボロボロにならないと。赤ちゃんの一步一步を、子供を育て直すこと。とても身に沁みました。まず、本人が中心。今日は来て、良かったです。訪問看護の現実を再認識しました。ありがとうございました (70)
- ・制度と現状とのズレについて、どのように本人にわかってもらえるのがむしろかしいと思う。
- ・解りやすかった。訪問看護の質を高める努力をして下さるとの言葉を信じます (70)
- ・高森信子先生のお話をもっと長く伺いたかったです (70)
- ・質問用紙にもとづいていろいろな人に回答していただくのは良かった。声が聞こえにくいので、マイク使いを上手に。ハギレよく話して(耳が遠くなっているのですみません)訪問看護のスタッフと当事者、信頼関係が深まって欲しい (70)
- ・参考になりました (70)
- ・実例がわかって、理解と知恵を得ることが出来ました。良かったです。本人の意思の尊重！高森先生、最高！お元気で… (70)
- ・SSTリーダーの高森先生のお話はわかりやすく、胸にストンと落ち、たくさんの元気を頂きました。アイスの話には涙しました。声掛けも大事！！現在位置にあわせていく！！心して接したいと思います。また話しかがたいです (70)
- ・家族として、様々考えさせられることが多かったです (70)
- ・本人の意向に見合っ前に進む姿勢、親にとって、特に過去の私にとって、大きな反省点になりました (70)
- ・高森先生の質問に対してのお答え、とてもわかりやすく、アドバイスがあつて良かったです (70)
- ・高森先生のお話、とても聞き入りました。もう少し長く聞きたかったです (70)
- ・コーディネーターの方の声が余り聞こえなかった (70)
- ・現実の今の状況が聞けて良かった！ (70)
- ・良く理解出来ました (70)
- ・高森先生のお話が感動した。家族・当事者への支援、実践的、踏み込んでいると感じた。我が地区(前橋市)より進んでいる。ありがとうございました。少し楽になりました (70)
- ・詳しく聞けて良かった。時間が少し長かった (70)

- ・高森先生の家族に対しての愛情も先に立ってルールに乗せるのではなく、本人の気持ちが一番で親は尊重して支持するのが大切というのは身に沁みました (70)
- ・よかった。高森先生がパネリストはよかった (70)
- ・コーディネーターの話はマイクの使い方が悪く、よく聞こえなかった。早口で皆に分かるように話すことが出来ないようだ。パネルディスカッションじゃなくて、高森先生の講話みたいでしたね。でも、それも良いかも？あやめ会の理事長の話は大変良かった。マイクの使い方が特に良い。小川氏の話はマイクの使い方が良かったり悪かったりで、良い処もあったが、資料をきちんと分けるようにするべきだ。質疑応答の時間が長すぎる (80)
- ・各パネルの活動から訪問看護が重要か、効果などが具体的説明で理解できました (80)
- ・長加部さんの話が身につまされて良かった!! (医療中断、投薬拒否の息子の対応に苦慮している)。また、小川さんの事例も大変参考になった (80)
- ・わかりやすかった (80)
- ・とってもいい話だった (80)
- ・家族として、精神の病について、薬は家族の現況、教育や学びが、薬の70%くらいは必要大と感じた。大きな役割を示すと思った (80)
- ・個々の事情についての質問等が多く、関係機関へのアプローチですることが多かった。整理が必要か (80)
- ・娘も52才になり、30数年前に高森先生の講演を聞いて、私も実行しました。今はすっかり普通の生活がおくれております。感謝しています (80)
- ・具体的事例が入っていて良く理解できた (80)

(医療・福祉関係者)

- ・精神疾患の方は生まれつき心が敏感で自分を守る層がむき出しになっている方という表現がとても印象的でした (20)
- ・高森氏の回答が長い。質疑応答が長すぎる (20)
- ・普段、支援者向けの研修に参加することが多いが、今回当事者ご家族も多く参加される場だったので、ご家族の悩みを身近に感じた。ディスカッションで出た質問やご意見は、地域の福祉職としても共に考えていけることも多かったので、ご本人中心が一番だが、ご家族にも耳を傾けながら、訪看やその他の関係者とチームでサポートしていきたい (30)
- ・ご家族のたいへんなこともわかりながら、当事者との関わり方で大切な事をお話していただき、たいへん勉強になりました。ご家族の方の色々な意見(訪看)を聴くことが出来たことがよかったです。通所をしてもアウトリーチの必要があるかもしれないと感じました。訪問看護師の方々が長い時間をかけて丁寧に対応されていることを事例を通して知ることが出来ました。様々な立場の人がつながりを持つ機会があると良いと思いました。互いの状況を知らないことも多いと思うので、今回様々な立場の人の話を聞くことは大切だと感じます。当事者の方がどう感じているか、どういう希望を持っているのか、その方のペースに合わせて対応していきたいと思いました。その気持ちを話して頂ける関係性を作れるように心がけていきます (30)
- ・医療関係者の立場で参加させていただきました。リアルな当事者や家族の声を聞いてよかったです。大変勉強になりました (40)
- ・当事者側、現場の意見、質問、思いがきけ、とても勉強になりました (40)
- ・高森先生の話、おもしろかったです。本当は一番の信頼者である家族もとても苦しんでいらっしゃる。どんな風に擦り合わせていくのか、興味深い (40)
- ・家族からの視点、訪看としての視点のどちらも同じように、ご本人にとって何が日々を穏やかに過ごすこと

を中心に考える***が良い事だと思いました (40)

- ・訪問看護の利用、ケースの現状は興味深かった。また、高森先生の話は愛があり、聞きごたえがあった (40)
- ・わかりやすく説明ありがとうございました (40)
- ・それぞれの立場から、お話が伺えてよかったです (40)
- ・精神訪問看護についての具体例を知り、現状について学べたように思いました (50)
- ・スタッフが走り回っていて、少し慌ただしかった (パネリストの資料配布のため?)。マイクの声が聞きとれない時があった。進行*****とりにくかった。資料はその場でも良いので、やっぱり手元に欲しい。司会の言葉がききとりにくい。高森先生ははっきり聞こえた (50)
- ・それぞれの先生方の立場がちがう中でのお話、とても興味深く拝聴しました。全ての先生、共通して「寄り添う」ことの大切さを学びました (50)
- ・精神科訪問看護でのご利用者との関わり参考になりました。当事者、家族とどうかかわっていったらよいのか、毎日悩みながらですが、家族の思いや、SST 高森さんの講演を聞いて方向性が少しですが、みえた気がします (50)
- ・家族会の方が疾患についての学びを進めていることが知れた。もっと早い段階で訪問看護との繋がりを深めることができているればよかったと思う (50)
- ・心を打つお話も多かった (50)
- ・沢山の方が質問されていて、良い会だと思いました。竹島先生、コーディネーターさんのまとめ方がとてもすばらしく、よいパネルディスカッションになっていました。それぞれのお立場からのお話がとても貴重でした。医療の方、看護の教育的な研修はよく受けていたのですが、高森先生、長加部先生のような、お立場、経験者からのお話は大変勉強になりました。未受診、治療中断は大きな課題です。訪問看護の質を検証していくには、当事者、ご家族からの声、評価を集めて、検証していくことが大切だと感じました。長加部先生の事例のように、ていねいに拾っていくしかないので、瀬戸屋先生に頑張って研究をまとめて頂きたいです (50)
- ・会場からの声を紙面の他にも生でうかがいたかったです (パネラーのかたとのやり取り) (60)
- ・訪問看護を有効活用することで、支援の質が上がり、幅が広がると感じました。当事者を中心に精神医療保健福祉活動を進めることの大切さを実感しました (60)

(その他)

- ・とても参考になりました。かつて、娘は発達障害 (未熟児による)、息子はひきこもり。しかし、誰にも相談できることはありませんでした。寄り添って頂ける方が存在するのは本当に有難いと思います。支援する側のスキルが相当、訓練されるのではないかと思います (50)
- ・それぞれの具体的な内容はわかりやすかった (70)
- ・まだまだ本人本位の支援が出来てないのだなど…。共生社会はまだ先の姿なのかと感じた。精神科の領域なのに認知症は周囲にアウトプットして理解につなげていけるけど、精神疾患は個人のプライバシーの部分が強く、***はリアクションが来るか???で、周囲への理解を求めるのが難しいのだと感じた (70)

*その他

(当事者)

- ・プログラム掲載ページを別紙にするか、一番前にすると分かりやすい (50)
- ・ミニコンサートの観客が少なかった。プログラムの中に入れると良かった (50)

(家族)

- ・質問に丁寧に答えて下さり、ありがとうございました (50)
- ・一日がかりの長い時間ではありましたが、有意義な時間を過ごすことが出来て良かったです。自分の娘も以前主治医のすすめで一時期、訪問看護を利用して家族共々お世話になりました。残念ながら継続できず、信頼関係を築く前にやめてしまいました。家族はもう一度利用したいと切望しています (50)
- ・流れも含め、素晴らしいシンポジウムで参加できて良かった。諦めずに根気強く地域と共に一緒に成長していけたら嬉しいです。よろしく願いいたします (50)
- ・パネルディスカッションは質疑応答の時間が多い方が良い (あらかじめ質問の募集をするなど)。問題点をもっと浮きぼりにして欲しい。ZOOM 配信もしていただけると遠方の人は助かる (60)
- ・実行委委員の皆さま、お疲れ様でした (60)
- ・精神保健福祉法制度改善について更に議論したかった (60)
- ・チキンハートの皆さんのミニコンサート良かったです。是非様々な場所でコンサートをして元気づけてください。私もとっても元気に、あつくなりました。ありがとうございます。高森先生に元気でいて頂き、さらに親に対して助言をしてほしいと思いました (60)
- ・オープンダイアログ的活動が訪問看護において活発にできるように医療体制を整えてほしい (60)
- ・作業所の方たちが若くてとても元気で感じが良かった (60)
- ・訪問看護を利用されている家族の方の話では、何回も再入院をくり返しメリットが得られていないと家族会で話されます。受診では、ほぼ薬をいただくのみですので精神科訪問看護が一般に広まると良いと思いました (70)
- ・コーディネーターの話し方、もう少しハッキリと話してほしい (70)
- ・これからは必要な支援だと思っている。精神科に特化した看護師さんが増えるようにお願いします。他の地域の事情も聞けて良かった (70)
- ・家族も当事者も楽になり、元気になりました (70)
- ・聞き取れないことがあった。とても良かったと思いました (70)
- ・訪問看護だけで解決できない問題が提起されていたように思いました。制度や法律の問題にも広がってほしいと思いました (70)
- ・朝10時半からの開始は適切だと思いますが、終了が4時半は一日のスケジュールとしては長いと思います。せめて4時に終了して頂きたいと思います。座りっぱなしで疲れました (70)
- ・壇上のピンクのお花が華やかできれいでした (70)
- ・この会のためにお骨折りいただいた役員のみなさま、ありがとうございました。会場が便利でよかったです。お昼休みのコンサートは時間がなくて聞くことが出来ず、残念でした。開会の前にでもやっていただければよかったです (70)
- ・利用できるようならお願いしたいと思いますが、心理の先生や精神社会福祉士の方で訪問看護に慣れた方がたくさんいらっしゃるとよいと思います (70)
- ・今日はありがとうございました (70)
- ・ドクターと本人と訪看のサンドイッチの中で本人は困っている。続編があるといいです (70)
- ・訪問を考えている方の参考になったと思います (70)
- ・誘われて参加しましたが、参加してよかったです。見ないように、考えないようにしている家族の問題をあらためて考えようと思いました (70)
- ・ご苦労様でした (70)
- ・質疑応答方法は相談者の生の声で質問する方法が心に伝わると思いました。

- ・当事者はさることながら、家族の方がとても「ひへい」してしまいます (70)
- ・発達障害 (アスペルガーと診断) の息子、B型でパソコン入力の仕事をしています。マイペースでできるので、仕事もまかされているので、はりきって毎日通っています。今の所、訪問看護は必要としていません (70)
- ・参加して、とても良かった。プラカードをもち、案内してくださった方がいらして、とても助かりました。ありがとうございました (70)
- ・関東ブロック大会と県民の集いがバッティングしているので、仕方がないとは思いますが、朝から夕方まではとても疲れます (70)
- ・昼食をはさんでの長丁場の講演会に初めて参加しました。スタッフの方の準備が大変だったと思います。ありがとうございました (70)
- ・我が家は、夫 (人格障害) で、私が 60 才の時離婚して、夫は今年 3 月亡くなった。息子 (55 才) 統合失調症で現在のグループホームに入所。娘 (51 才) はうつ病で、仕事が長く続けられず、1 人暮らしをしている。将来に不安を持っています。最近、私 (85 才) も疲れて医者に通っています (80)
- ・親は既に 83 才、娘は 48 才で子供 3 人抱え、兄 (息子) の面倒は今後、訪問看護に頼りたいが難しい (80)
- ・みんなねっと、浜家連、じんかれん、あやめ会の勉強に出席していこうと思う。
- ・開催スタッフ、お疲れさまでした (80)

(医療・福祉関係者)

- ・チキンハーツさんのバンド、感動しました (20)
- ・受付がわかりにくかった。福祉関係者の受付を設置して欲しい (20)
- ・精神科医療における訪問看護の役割や当事者が求める要求とのギャップを埋めるうえで貴重な場になったと思います。サポート頂いたスタッフの皆様に感謝申し上げます (40)
- ・今回は高齢者やその家族について、ふれることは少なかったと思いました。高齢者を支援する中で精神疾患をお持ちのご家族が増えているので、今後更なる課題だと感じます (50)
- ・今後も当事者・家族の幸せのために、ご活躍をお祈りいたします。応援したいです (50)
- ・この関東ブロック大会に横浜市は入っていないのでしょうか？住んでいるので気になりました。(浜家連も加わっていたので嬉しい) 横浜市泉区にあるステーションに届いた FAX で知りました。このような会を無料でしていただき感謝しかないです。ありがとうございました (50)

(無記載)

- ・当事者の方と家族の方のお話を聞きたかった (不明)

*今後のテーマ

(当事者)

- ・依存症、うつ病、発達障害について (50)

(家族)

- ・高森先生の話 (50)
- ・これからも現実に即したテーマを取り上げて頂けると良いです (50)
- ・医師との付き合い方、診断・投薬の考えかた。家族と本人のあつれきを如何に対処するかのスキル (50)
- ・滝山病院等、虐待をなくすための精神保健福祉法の改革。日本精神科病院協会の改革、山崎学会長の解任問題 (60)

- ・病気の子を隠すというのは世間に対して子育ての失敗をあらわにするようで隠したくなるのだと思う。ガンや他のまだ原因が特定されていない病気と同じく脳の病気だともっと周知する活動をして欲しい。病気を隠している家族を家族会につなげる活動を考えて欲しい (60)
- ・又、参加してみたいと思います。知ることは大事ですね。有難うございました (60)
- ・あやめ会、じんかれんの皆さま、お疲れ様でした。ありがとうございました (70)
- ・親亡き後の兄弟、姉妹の立場での当事者への関わり方、その他いろいろ大事なことを教えて頂きたい (70)
- ・これからも家族の実情にそうテーマを取り上げてください (70)
- ・病気の原因やそれぞれの病気の症状の特徴について (70)
- ・地域での障がい者差別と本人の心のキズの治療やいやしについてどうしたらよいか (70)
- ・オープンダイアログについて (70)
- ・面倒をみている家族の疲れの癒し方 (80)
- ・精神特例の役割とデメリット等を取り上げて、家族会会員を対象に議論していただきたい (80)
- ・特に病識がなく、医療も薬も受け付けない統合失調症の人に病識を持たせるには、どうすれば良いのか？というテーマを取り上げてほしい (80)
- ・A,B 各作業所の入所。グループホームの入所及び生活、入会金。金銭 (80)
- ・オープンダイアログの実践を舞台でみてみたい (80)
- ・精神医療への AI 利用 (80)

(医療・福祉関係者)

- ・医療につながってない方への対応 (40)
- ・共通のテーマで行えるもの、制度改正のことなど (50)